

柳津町こども見守り会(岐阜市)

～地域の「宝」こどもの命を守る地域の目～

【団体のプロフィール】

代表者	日比野 光子
結成	平成12年2月から
活動人数	(結成当時) 76人 (平成20年6月末現在) 153人
メンバー構成	女性の会会員(86人)、一般女性(46人)、自治会員(15人)、青少年健全育成市民会員(6人)で構成。合計 女性132人、男性21人



(岐阜市から蛍光ベストを支給いただきました)



(四辻で、「おはようございます」「いってらっしゃい」とあいさつ。ランドセルには「防犯ブザー携帯中」のシールが貼ってあります)

【活動のきっかけ】

- ・ 地域環境の急速な変化(大型店の進出、人口の増加、建売住宅の増加、生活道路にまで車が進入し、通学路が交通ラッシュ、夜中イルミネーションが輝き、暴走族や非行、不審者の出現など)に伴い、地域で児童が安心して生活できなくなってきた。
- ・ 「地域の子どもの幸せな健全育成を願い、安全指導をする」という目的のもとに活動を始めた。
- ・ 平成11年9月から女性の会有志に話し、登下校時の見守りを始める。
- ・ 平成12年2月、各地域の人に呼びかけを行い、「柳津町こども見守り会」を発足させた。

【活動を始める際に用意したもの、最初の相談先】

用意したもの	<p><子どもの見守り活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笛、携帯電話、ラジオ、地図【個々で用意】 ・ ボランティア保険【平成12～19年は、女性の会で負担。平成20年からは、学校安全会(岐阜市教育委員会学校保健課所管)で加入】 ・ 腕章、笛、蛍光ベスト、緑色の見守り旗【羽島警察署生活安全課、県環境生活政策課、岐阜市くらしの安全室】
最初の相談先	<p><子どもの見守り活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽島警察署生活安全課の訪問を受け、子どもの見守り活動に協力いただく。(平成13年5月) ・ 柳津小学校の校長先生と、通学路の危険度、危険箇所について話し合う。(平成13年5月) ・ 県環境生活政策課が、子どもの見守り活動の実施状況について視察(平成14年)

【活動区域、活動内容】

活動区域	柳津小学校の児童通学路、柳津校区全域(公園やスーパーなど)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して柳津町各地域の子どもたちの安全指導をする。【ほぼ毎日】 登校時(7時~8時20分頃)、下校時(学校の下校時刻に合わせて)に、交通安全指導を行う。(自宅近くの通学路で見守り、四辻、交差点、通学時間帯に交通規制を行い、違反チェック、歩行指導など) 通学路の安全確保のため、堤防道路の交通規制を要請し、実現した。 メンバーは、普段から、あいさつ運動「おはようございます」「ただいま」「さようなら」を積極的に行っている。 あわせて、子どもたちのいじめ、非行、危険な遊び、体の異常などに注意し、何かあれば連絡をとりあうようにしている。 また、大型店等のトイレ、片隅の状況と安全確認もしている。(万引き、ふざけ、食品さわり)【随時】 不審者の発見をした場合は、地域の見守り会員、保護者、小学校、PTA、自治会などの関係機関と連絡を取り合うようにしている。緊急時は、まず警察署に連絡するようにしている。



(交差点で、子どもたちを誘導中)



(通学時間帯に交通規制。境川堤で見守る。お巡りさんも参加。「もう少しで学校よ。頑張ってるね！」)

【活動を継続的に行うために工夫していること】

- 子どもたちの登下校時に、会員の自宅付近の通学路に出たり、窓から見守ったりしている。
- トラクターでの田おこし、イチゴのハウス内での農作業中でも、子どもの声がすれば、そちらを見る。
- 時間の余裕のある人は、所定の場所まで送り迎えをする。
- 絶対に無理をしないように、忙しい父母の陰の力になれるよう努力し、子どもたちから親しまれるように、子ども目線で行っている。
- 子どもたちと接することで、ボランティアとしての喜びと誇りを持つとともに、子どもたちの笑顔や声がメンバーに、元気パワーとなって体に浸透している。

【これから活動を始めるボランティアの皆さんへのアドバイス】

- 毎日の生活のリズムを徹底し、子どもたちに笑顔であいさつできるように心がけています。
- 子どもの見守り活動は、絶対に無理をしないようにしています。また、個人情報の管理(ボランティア名簿は地域の代表者のみ配付。子どもにした注意などは他言しない等)もしっかりとしています。
- 地域の大切な宝である子どもたちの将来に向けて、あいさつや交通ルール、自然とのふれあいなどを通して、子どもたちの人間性を豊かにする手助けをしています。
- ボランティアは、地域への感謝の心を忘れないようにしています。
- 元気にあいさつ、明るい笑顔をもっとにして、地域の笑顔の輪を広げていくようにと務めています。